

阪神北

空き家対策を通じまちづくりに貢献

NPO法人兵庫空き家相談センター
理事長 三坂 友章（宝塚市）

当センターは、平成三十年六月に猪名川町と「空家等の対策に関する協定」を締結し、七月に日生公民館にて「空き家対策セミナー」を開催しました。百名を超える参加者があり、そのうち半数が、他の地域に住んでおり、猪名川町に空き家を持っていらっしやる方でした。猪名川町が空き家所有者等に案内文を送付したことが、参加者数アップにつながったものと思います。空き家を放置すると、地域の景観を損なうだけでなく、地域コミュニティの組織力低下を招くこともあります。空き家対策は、行政だけでも民間だけでも難しく、官民連携することによって効果が出てきます。今後も、住みや



猪名川町「空き家対策セミナー」の様相

お問い合わせ先
NPO法人兵庫空き家相談センター
電話 0797-81-3236

すいまちづくりに貢献していきたいと思えます。

北播磨

ワークショップで古民家改修！人が集まる場所に

紡 T SUMUGI 代表 山本 早希（多可町）

私たちは、古民家等の活用と地域活性化に取り組んでいます。空き家の問題は全国に広がっていますが、私たちはそれを、地域の歴史を紡いできた資産と捉え、定期的に古民家改修ワークショップを実施することで、人々が集う場所づくりに取り組んでいます。京阪神や大阪から人が集まり、プロの加工から技術指導を受け、DIYを楽しみます。ワークショップでは大工仕事だけでなく、現存しておく皆さん（羽釜）を使ってごはんを炊いて、皆で昼食を食べます。また、地域の方にこんなに作りを教わったり、餅つきをしたり、石臼できな粉を挽いたり。日本伝統の食文化を楽しむことも、私



大人も夢中になる土壁塗りの作業

お問い合わせ先
紡 山本早希
電話 090-5240-4867

たちの目的のひとつです。地道な活動ではありますが、地域の宝を守り、人が集う場所にできるよう努力していきます。

西播磨

町並みと暮らしを未来へ引き継ぐために

NPO法人ひと・まち・あーと
代表 畑本 康介（たつの市）

「ひとまちあーと」と市民出資によるまちづくり会社「緑葉社」は、城下町龍野の町並みと暮らしを、百年先まで引き継ぐための活動をしています。住民を講師として囲み、城下町の歴史などを学ぶ「むかしみらい学校」、来訪者と住民の交流の場となる「コミュニティBAR「ふるさと」、まちや案内所「あがりがまち」、お寺での野菜市「わらしべ市」を展開し、住民と若者との接点を作ります。ここ数年、城下町への出店希望者が増加。魅力的な店舗がオープンし、移住希望者も増えています。「移住希望者ツアール」を開催し、入居希望者との面談もじっくり進めています。住民の



旧診療所をリノベーションした「旧中川邸」

お問い合わせ先
NPO法人ひと・まち・あーと 畑本
電話 0791-63-5001

文化を未来へつないでいくために、今できることをひとつひとつ積み重ねたいと思います。

丹波

篠山暮らしお試し住宅「福住わだ家」

田舎暮らし体験住宅運営委員会
委員長 麻田 馨（篠山市）

篠山市福住地区は、兵庫・大阪・京都の府県境にある旧宿場町です。江戸時代の風情が残り、平成二十四年には国の重要伝統的建造物群保存地区「宿場町・農村集落の町並み」に選定されました。篠山暮らしお試し住宅「福住わだ家」は、平成二十五年に空き家になった古民家を改修しオープン。一定の期間滞在し、農業体験など田舎暮らしを体感でき、また、地域内外の人々とイベントを通して交流するなど、地域活性化の拠点施設になっています。今年の四月から実施している「福の里農業小学校」では、地元住民・高等学校・仏閣などが連携し、市内や都心



「福住わだ家」でのピザづくり体験

お問い合わせ先
田舎暮らし体験住宅運営委員会 関口
電話 079-557-0772

部の小学生に向けて、農業体験や地域間交流の場を提供。福住地区の魅力を発信しています。



愛称：ココロン

ココロンHP内の県民情報ネットワークのページでは対談を動画配信しています！

「ネットワーク 知事対談」で検索！



自己紹介

山口 神戸出身で大学は建築学科に在り、二三年はゼネコンや設計事務所勤務。そのうち、サラリーマン人生に疑問を持つようになり退職。マイクロス一台に二十人程が乗り込んで、過疎地域を一ヶ月で回る企画に参加して、お住まいの皆さん方と交流したり、まちづくりのプレゼンや、初めての農業体験をしました。

五時間ひたすら一人で牛糞を畑にまく作業では、最初は愚痴ばかりでした。ところが、続けているうちに、だんだん気持ち自然と一体化して、とても癒されたんです。

それで、農業や地域の可能性といったものに強く惹かれて、神戸大学の農学生が立ち上げたNPO法人「食と農の研究所」に入りました。神戸の水道筋商店街でマルシエやアントナショップをしましたが、イベントだと一過性で終わるので、もっと生活に取り入れてほしいという想い



山口 寛人さん

が強いので、オルタナティブレッジを立ち上げました。松岡 姫路生まれの姫路育ちです。大学からは大阪に行き、航空会社、テレビの番組制作、まちづくりの財団の仕事を経て、二〇一一年からゲストハウスをしています。人に出会うことと海外旅行が好きで、学生の頃から七ヶ国は回っています。知事 一番珍しい国はどこですか？松岡 中東のイエメンや、アフリカのマリ共和国ですね。知事 それは珍しいですね。松岡 旅行では、安いでゲストハウスに泊まりました。そこで、いろんな国の、いろんなバックグラウンドの方と知り合って、「ゲストハウスは面白いな」と気が付いて、自分も開きたいなと思いました。

今回は、店舗や民家などの古くからある建物を拠点づくりやイベントに活用し、地域を盛り上げる活動について、知事と語り合っていました。（平成三〇年一〇月四日対談）

【出演者】
ひめじ588（ガハハ）ゲストハウス オーナー
NPO法人オルタナティブレッジ 代表理事
兵庫県知事

松岡 京子
山口 寛人
井戸 敏三

が強いので、オルタナティブレッジを立ち上げました。

松岡 姫路生まれの姫路育ちです。大学からは大阪に行き、航空会社、テレビの番組制作、まちづくりの財団の仕事を経て、二〇一一年からゲストハウスをしています。

人に出会うことと海外旅行が好きで、学生の頃から七ヶ国は回っています。知事 一番珍しい国はどこですか？松岡 中東のイエメンや、アフリカのマリ共和国ですね。

知事 それは珍しいですね。松岡 旅行では、安いでゲストハウスに泊まりました。そこで、いろんな国の、いろんなバックグラウンドの方と知り合って、「ゲストハウスは面白いな」と気が付いて、自分も開きたいなと思いました。



松岡 京子さん

知事 ハウスの名前に「588（ガハハ）」がついているのは、どうしてですか？

ゲストハウスの由来

松岡 「外国の方が読みやすいように、数字で表現ができて、何か私に関連するような名前はないかな？」と友達に相談すると、私の笑い方が「ガハハ」なので588はどうかと提案してくれました。とても気に入っています。でも、地元の方は「ガハハ」で覚えていたでいて、外国の方は「588」ゲストハウスを探すので、道を聞いても分からず迷う方が多発しました（笑）。みんながガハハと笑ってくれるような場所を作りたいな、という思いも込められています。知事 「ガハハ」は、松岡さんの笑い声なのですね。ところで、建物はどうやって見つけたのですか？松岡 大阪が姫路かて悩みましたが、やっぱり故郷に帰ってきたくて、姫路で探しました。不動産屋さんに聞いても、姫路城周辺で手頃な物件が無かったので、自分の足で探して直接交渉もしました。当時は、ゲストハウスに対する認知度が低く、全然貸していただけず、二年半くらい経った時に、ようやく駅と姫路城の間にある本町商店街のこの物件を見つけた。部屋は三つで、十

県民運動情報「ネットワーク」

NO.146

「ここら豊かな美しい兵庫」をめざして

特集

「古き良き建物を活用して地域を元気に！」

編集発行 兵庫県豊かな美しい兵庫推進会議（兵庫県企画県民部県民生活課内）
〒650-8567 神戸市中央区下山手通5-10-1 Tel 078-362-3136

知事 交流スペースはありますか？
松岡 ゲストハウスによって違いがありますが、交流を大切にしているところが多く、うちも一階に交流スペースを作っています。お酒も飲めますし、皆さん自由に楽しんでいます。



三木・淡河・神出で活動

知事 山口さんは農業に目覚めて、どんな活動をされたのですか？
山口 まず、お米の勉強会に参加しました。農業体験と教育をマッチさせようとしたんです。

なぜ教育かという点、僕は不登校生や引きこもりの子の、カウンセラーもしていました。さっき話した地域めぐりのバスに、何か引きこもりの子が一人乗っていて、一ヶ月後にはとても元気になっていました。
そのことから、地域や自然に連れて行って活動することが、有効なカウンセリングになると考え、「オルタナティブスクールを創る会」を立ち上げました。「オルタナティブ(=Alternative)」の意味は、「よって替わる、新しい選択肢」などです。

オルタナティブスクールは少人数で行います。海外や欧米では、いろんな私立の学校があって教育の多様性があるので、引きこもりが起こりにくい。

地域の方との繋がり

知事 オルタナティブスクールを始めから、困った経験はありますか？
山口 僕はよそ者で、淡河に入るときは、運良く地元の人を紹介していただきました。地元の中に繋ぎ役のような方がいてくださることは、すごく大切です。



知事 コミュニティのキーマンと知り合わないと、飛び込んで弾かれてしまうかもしれない。地域の人に好かれるかどうかは重要ですね。
知事 松岡さんは、困った経験はありますか？

松岡 最初は、文化風習が違うので、「外国の方は怖い」と過度に警戒されていたりしましたね。今はもう慣れていただきたみたいです。
例えば、チェックインの十六時より前の、ゲストハウスが開いてない時間に来られるお客様も多いのですが、お隣さんがお荷物を預かっていてくださったり、眼鏡が壊れていたら直してくださったり。

地域の方のご協力のおかげで、「次もまたここにリピートしたい」というお客様もいらっしゃって、本当にありがたいです。

知事 商店街全体が盛り立ててくださる。それは心強いですね。



そういう多様性を日本でも受け入れて個性豊かな子をもっと伸ばせるような教育の場が必要だと思っただけです。
勉強会で出会った、三木市でお米の自然栽培をしている方と意気投合してすぐに弟子入り。

一年間研修を受けて、空き家も紹介していただき、三木で大人がお米作りを学ぶスクールを始めました。
知事 大人で農業を学ぶ人たちは、どのような人ですか？

山口 野菜だとか市民農園がありますが、お米の兼業スタイルは支援が少なく、都会の人がいきなり田んぼをやりたいと言っても、どうしていいのかわからない。

師匠の田んぼを實習田にして、毎月二回、師匠が自然栽培とお米の授業を、残りは僕が教育やコミュニティの話をしました。



知事 次は北区の淡河に拠点を作られたのですよね？

山口 農業と一緒に教育をやるには、里山みたいなところが良いなとイメージしていました。その点、三木は日当たりがあって水も豊富だけど、平野が広がっているのが難しかったです。

一方で、北区淡河は里山があって、茅葺の古民家が残っているような場所です。知り合いの団体が借りていた古民家が空くという話を聞いて、その伝で入りました。築一〇〇年の古民家で、畑があって、周りの田んぼをちょっとお借りして…。
知事 なんだか、ふさわしい感じですか。現在の規模はどれくらいですか？

今後の抱負

知事 最後に、これからの抱負をお聞きます。
山口 農業に関しては、就農はハードルが高いので、草の根の活動ですが、皆で楽しみながら耕作放棄地を活用していきたいです。

教育に関しては、「里の幼稚園」という活動をしてみたいと思っています。モーターはドイツの「森の幼稚園」園舎を持たずに、一年間森の中で保育活動をする。雨の日も風の日も自然のものに触れることで、身体能力や集中力、想像力がつく、そんな幼稚園です。

これをアレンジして、僕らは日本の原風景ともいえる里山で展開したいです。コミュニティづくりに関しては、十月から始めるグランメールで、農作物を作り、加工もして、それを仕事づくりにする。オルタナティブビレッジを立ち上げた時の「コミュニティづくりを土台とした、教育と農業活動」という目標に近づけていきたいです。

グランメールを運営していたヘルシママさんが培われてきた経験と若者がうまく融合しながら、ひとつのコミュニティを作りたいたいです。

知事 山口さんのようなグループが地域とコラボしてくれると、心強いですね。頑張ってください。松岡さんも、抱負をお願いします。

松岡 私は、ガイドブックに載っていない情報を、工夫して発信していきたいです。
例えば、姫路では姫路のお祭りの情報しか観光案内には出ていませんが、高砂の曾根と灘のお祭りは、はじこができる日程があります。

山口 少数精鋭で、子どもを入れて年間一〇〇名程度です。今年で三年目とありますが、年々参加者は増えています。



単発イベントは行っておらず、基本は「種まきから食卓まで」という年間のプログラムのみですが、具体的には、親子向けや、自給自足したい方向けのレベルアップしたスクールも用意しています。

知事 西区の神出にも活動を広げているのですか？

山口 西区神出のグランメールという宿泊体験施設が、老朽化して何年も使われてない、と聞いていたので、オーナーとも知り合いましたので、話が進み、十月から活動を始めます。

田畑のスクール系は、引き続き淡河でやっていきます。

ゲストも地域も盛り上げたい

知事 ゲストハウスの利用者は、どんな方が多いですか？

松岡 ヨーロッパの方が多くですね。買い物物より歴史や文化に興味をお持ちで、姫路城や書写山園教寺などを目的にいらっしやいます。

知事 山口さんのように、拠点を増やす予定はありますか？

松岡 ヨーロッパのお客様は和式のゲストハウスを好まれるので、まだ古民家が残っている野里という地域に増やしたいなと思っています。

知事 それは楽しみですね。民家や古民家といった空き家を改装する時には、県の助成制度を使っていたら良いと思います。事業所用だと最大二分の一

そこで、一見さんでも、こう行けばこんなふうにお祭りが楽しめるよというマップを、外国の方用と、日本の方用に作ってみました。

これからも、いろいろな方法で情報発信をしていきます。ゲストハウスと姫路市を盛り上げるといふより、姫路を通じて、兵庫県の魅力を知っていただけるといふような活動をしていきたいです。



地域団体の紹介

神戸

「地域財産×地域コミュニティ」の新しい活動

代表 高橋 大輔さん(須磨区)

「TEAMスマプラ！」は山と海の魅力あふれる須磨で、国際交流の観点から外国語、海外文化、民族料理等を学べる機会を提供することで、地域を盛り上げ、須磨コミュニティを創る活動を行っています。

その活動の拠点として、空き家を改修した地域のコミュニティスペース「スマハウス」が誕生しました。

昨年度から、この場所で国際交流と国際問題をテーマに、移民や多文化について考える映画上映会や、食と音楽を通して韓国文化交流などを行い、多世代・多国籍の方々や学び、交流してきました。

須磨には源平合戦ゆかりの須磨寺をはじめ、瀬戸内海を望む海岸や須磨ア



食と音楽を通して学ぶ韓国文化交流イベント

お問い合わせ先
TEAMスマプラ! 高橋
電話090-4298-9076

を、住宅用だと水回りを中心に補助する制度を持っています。

ただ、姫路は泊まり客が少ないので、泊まりは別、という方が多い。是非、そういう方を泊めていただきたいです。
松岡 私たちとしても、泊まっていただけない、連泊をさせていただかないことがネックで、どうにかしたいと思い、夜のプログラムを考えました。



例えば、夜の姫路城の近くで、お琴を聴きながら、お城の夜景を借景にして楽しんでいただく「ナイトピクニック」。こういうプログラムを作って、姫路に泊まっていた方々を増やしたいです。

知事 姫路城以外にも、面白い観光ポイントがありますよね。他にも、交流の場を作っておられるのですか？

松岡 姫路の知り合いを増やしたくて、「姫路手作りてんこもり市」という、誰でも参加できる手づくり市を、いろんな場所で開催しました。今は一旦終了しましたが、市民が交流できる場所作りになりましたね。

他にも、ラウンジではスタッフが英語を教える企画や、誰か一人に作っていただいたお料理を皆でいただく「みんなでお晩飯」をしました。「みんなが先生」というプログラムでは、ポップを作ることや、上手なティスプレイの仕方といった、何か一つ得意なことをみんなに共有してもらいます。

知事 広がりを持たせて、面白そうなプログラムですね。



知事 是非、受け取った方の興味が沸いてくるような、物語性がある観光情報を作っていたらいいかなと思います。宿泊客が増えますよう、期待しております。
お二人とも、これまでの経験をさらに活かして、未来をぜひ切り開いていただければと願っております。
今日はありがとうございました。